

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表：2020年 2月 22日

事業所名：アビリティ上野

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			パーテーション等を使用し、個々にあった活動を行っている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			個々に応じた職員体制を整えている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		室内はバリアフリーとなっている。	衝突や転倒、怪我につながることはないように見守り体制を整えている。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			活動前後での時間を用いて、職員同士の連携を図るようにしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		結果は全職員が把握できるようにしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		ホームページ上で公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		第三者評価が実施出来ておらず、体制の整備が必要である。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか			○		外部での研修参加が難しく、今後の課題である。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者からの意見と児童の実態から得られたニーズに沿った支援計画の作成に努めている。	相談支援員との連携が図れておらず、今後の課題である。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			事業所内で統一アセスメントツールを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日々の活動においては、職員間での話し合いにより計画している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節を感じるような活動や、外出、レクリエーションを取り入れる等工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日にしか体験できない活動を取り入れている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			双方の観点から計画を作成している。	
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			前日と当日朝に活動内容や担当職員の確認を行い、情報共有に努めている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			振り返りから記録へと反映させ、全スタッフで共有できるようにしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録については徹底して行っている。また、月末には保護者に記録のコピーをお渡ししている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		定期的なモニタリングはできていないが、保護者とは送迎時に情報交換できている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか		○		日々の活動で、ガイドラインを用いた活動を心がけている。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携 関係	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその 子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画して いるか			○		電話やメールでの情報交換しか行われてい ない。今後の課題である。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子 どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対 応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○			情報交換ができていない学校、できていない学 校があり、全ての学校では行われていない。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子 どもの主治医等と連絡体制を整えているか					該当なく、未実施。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども 園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互 理解に努めているか		○		必要に応じて、情 報交換を行っている。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障 害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまで の支援内容等の情報を提供する等しているか					該当なく、未実施。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等 の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		研修会への参加はなかなか難しく、今後の 課題でもある。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない 子どもと活動する機会があるか			○		現在まで未実施。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		研修会への参加はなかなか難しく、今後の 課題でもあります。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎で来所された 際、情報交換をし ている。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対 してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		情報交換を際 に、対応力への提案 をさせていただ いています。	個別対応させていただいているので、今後も 幅広く行っていけたらと考えています。	
保護者への 説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧 な説明を行っているか	○			契約時、変更時に 説明させていただ いています。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に 応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			随時、電話やメー ルでの相談にも対 応している。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催す る等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		現在まで未実施。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を 整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情が あった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			情報は、すべて全 てスタッフ間で共有 し、改善に努めて います。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連 絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信して いるか		○		ホームページにて活 動内容についての情 報発信はしている。	ホームページでの更新が滞っているため、 定期的に更新することが今後の課題である。
	35 個人情報に十分注意しているか	○			配布物にも十分 に配慮している。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝 達のための配慮をしているか	○			タブレット等を用 いた視覚的アプロ ーチも対応している。	
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれ た事業運営を図っているか			○		現在まで未実施。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応 マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルの改訂 ごとに職員間で共 有している。	保護者への周知方法が不十分との意見 があり、検討していく。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他 必要な訓練を行っているか	○			定期的な訓練の 他に、1階との合同 訓練も行っている。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、 適切な対応をしているか			○		外部での研修参加が難しく、今後の課題で ある。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについ て、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し 了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載し ているか					該当なく、未実施。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書 に基づく対応がされているか	○			保護者からの聞き取 りで確認、職員間で の共有もできている。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有してい るか		○			職員間での意識は低い。小さな事でも記入 できるような意識付けが必要。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。